

## 「玉浦西まちづくり住民協議会」の方とともに集団移転先の新しいまちづくりについて話し合いを行いました

2014年1月18日に発足した「玉浦西まちづくり住民協議会」のメンバーの方を対象に、集団移転先のまちづくりについての話し合いを行いました（2014年2月23日、3月2日、3月23日）。話し合いの内容は①移転先の各自の敷地内の建物配置、②移転先のコミュニティ居久根の植栽方法、③その他の集団移転先のまちづくりについてです。

移転先の景観を考えるため、各自の敷地内の建物配置について話し合いを行うため、移転先に移られる住民の方々に各自の敷地内でどのような建物の配置にするのかを、1/200の図面に書き込んでいただきました（写真1）。その後、石川研究室が清書したもの（図1）をもとに、隣近所同士で生垣をどのように配置するのかについて話し合いを行いました。住民の方からは、駐車場を広く取りたいとの要望が多く出され、連続した生垣を形成しにくいとの意見が出ましたが、話し合いを進めていくうちに、駐車場の配置と生垣の連続性について折り合いがついてきました。

コミュニティ居久根については、岩沼市が植栽する7mおきの植栽のみでは、冬の冷たい季節風を十分に防ぐことが難しいことから、住民の手で居久根の植栽を行っていくことになりました。季節風を防ぐ効果を期待することから、すでに大きくなった樹木の購入を推す意見が出されましたが、住民の方自ら植栽する事を考え、植えやすいサイズの樹木を購入し、大きく育てていくことになりました。また、2012年の11月より住民の方が拾って集めたドングリから仮設住宅の軒先などで育てている苗木もコミュニティ居久根の一部として植栽する予定です。



写真1：住民の方の書き込み



写真2：話し合いの様子



図1：住民の方に書いていただいたもの（写真1）の清書